

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2017 年 7 月号 (第 107 号)

発行責任者 稲村 洋二



「懐かしの映画・鑑賞会」 端午の節句の宴

橋爪 良輔/撮影

公開文芸講座**「人間・夏目漱石」が大盛況****午前・午後の二部制で実施**

事業部長 佐藤 重松



「広場」4月号・5月号で倶楽部会員及び一般公募へのお知らせを行い、5月15日の募集締め切りの時点で、応募数は一般枠30名に対し60名、会員枠65名に対し80名の合計140名となり、抽選で45名の落選者を出さなければならない事態となりました。

応募者が多かった要因は3点、第一に夏目漱石の愛読者ファンが多いこと、第二は昨年没後100年、今年生誕150年というメモリアルイヤーで、マスコミ等を通じて宣伝されていたこと、第三は、3年前に「人間・正岡子規」を講義いただきました栗田博行先生がお引き受けいただいたこと。当時、聴講された皆様が、栗田先生のご講義に大変感

銘を受けられ、リピーターとなられたこと。

このような客観的状況を考慮しますと、落選者を出したくないという思いに駆られ応募者の人数を増やして、講義を2回出来れば問題解決と考えました。幸い栗田先生も快くお引き受けいただき、サークル・倶楽部会員の皆様の協力のもと追加を含め180名の受講生で実施しました。

最後に、栗田先生の熱意がほとばしる講義とともに、合わせて膨大な資料作成に対し、心より感謝申し上げる次第です。

「ハーメルンの笛吹きおとこ」入場券販売状況

実行委員長 稲村 洋二

6月26日開催された実行委員会で確認された入場券の販売状況は以下の通りです。

	大人用		子供用	
	6/12	6/26	6/12	6/26
サークルの販売数	133 枚	41 枚	11 枚	6 枚
実行委員会	77 枚	19 枚		
ミュージックチケット販売	5 枚	2 枚		1 枚
シン中央会計	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚
合計	215 枚	62 枚	11 枚	7 枚

総合計 大人用 277 枚 子供用 18 枚

なお、上記販売枚数はミュージックチケット販売を除き、販売され実際に入金した枚数です。販売をされているがまだ入金していない入場券は算入していません。さらに6/26現在販売を報告されていないサークルが6サークルあります。次の入場券販売集計は7/10の予定ですのでこれらのサークルの販売努力に期待しています。

なお、子供用チケットはサークルと実行委員会の販売の区分がわからないのでサークルに一括してあります。販売目標は700枚です。7/28(金)はサークル活動発表会ですが、10時から拡大実行委員会を開催し各サークルの売れ残り入場券を回収しますので、その間は各サークルで引き続き販売に協力をお願いします。

「サークル発表会」へ是非ご参加ください！

事業部長 佐藤 重松

第2回サークル発表会が新所沢公民館にて行われます。

ところざわ倶楽部には17サークルがあり、活発な活動の実績を積み重ね、交流と親睦を深めています。

そして、地域や各種施設、小学校でのボランティア活動など社会貢献活動を行っています。そのような活動を各サークル内にとどめないで、「倶楽部全体で共有し、会員相互に理解を深める！」を趣旨として、開催いたします。他のサークルの活動を知り・理解を深めるいい機会です。多くの方の参加をお願いします。

開催日：平成29年7月28日(金)
会場：新所沢公民館ホール 入場無料
講演：13:00～16:00
(開場：12:30分)

発表4サークル紹介(数字は発表順番)

- ①「食を通して所沢を知る会」 ②「楽悠クラブ」
③「野老澤の歴史をたのしむ会」
④「ドラマティック・カンパニー」

6月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

6月12日(月)開催

1. 会長挨拶

- 市民大学24期企画委員会との懇談報告
24期生への説明会は9月5日(火)予定
- 「ハーメルンの笛吹きおとこ」の報告
子役募集は42名で締切、以後は問合せを断る
サークルのチケット販売状況確認。
会員へ積極的な声掛けを

2. 総務部案件

- 「10周年記念誌」実行委員会報告
「ところざわ倶楽部のあゆみ」見本を理事宛て

送信した。確認の結果見本は了解

3. 事業部案件

- 「生涯学習シンポジウム」報告
参加者204名と満員の盛況、受付不備と参加者がディスカッションへ参加できなかった点課題
- 「人間・夏目漱石」参加者状況
179名の申込者全員を受付、講師のご協力により、午前午後と2部制で開催
- 7月28日(金)4サークル発表会

4. 広報部案件

- 広場6月号は6/9発行、7月号編成案依頼

2017.5.29 「生涯学習」シンポジウム(紙上意見抜粋)

“健康で 家族や仲間と地域で楽しく”

事業部長 佐藤 重松

「生涯学習」シンポジウム（基調講演&パネルディスカッション）にご来場いただいた 204 名の中、55 名の皆さんから紙上参加の貴重なご意見をいただきました。今回はダイジェストで「広場」に掲載しました。55 名全員のご意見は HP に掲載したいと思います。

1) 基調講演を聞いて

- ① 「学習能力は衰えない・言語能力は上がっていく。「思いやり」は「道徳でなく社会性である」これらをしっかり記憶したいと思います。
- ② まだまだ学ぶ事は沢山あると思えた。特に、人間尊重の視座が大切であると。近頃の社会風潮やマスコミの報道についても深く考えさせられた。自分で問題意識を持つことの大切さを再認識した。
- ③ 講義展開が「学ぶ意義を具体的に提示」されてから、学び方を考えるという流れが大変頭に入り易く、納得や同感する点が多い。なんとなくぼやっとしていた学ぶ意義や考え方に明確なサゼッションを与えていただいた感があります。
- ④ 資料 11 項目の「私」に共感しました。
 1. 考え学ぶ「私」
 2. 行動して確かめる「私」
 3. 仲間と協同して成長する「私」
 4. 意見を言える「私」
 5. 自分の意見に責任を持つ「私」
- ⑤ マスコミ報道をきちんと理解・判断する力を磨くこと。それにはきちんと社会を学ばなければいけない！その通りだと思う。
「国民としての模範なる私」素晴らしい言葉



2) 「生涯学習」& 「豊かな人生」とは

- ① 人間死ぬまで勉強だという言葉があり、なんでもいいから学習することは大切だと思う。
「豊かな人生」とは、人間同士の味わいのある関わり合いや付き合いが大切。そういう意味でところざわ倶楽部の存在は非常に大きいと思う。会員の高齢化に対応した動きや企画をもっと作って欲しい。
- ② 私にとっても「豊かな人生」とは、平和な社会、穏やかな暮らしです。
- ③ 自分にとっての「豊かな人生」とは、“自分の思い描いている人生設計の通りに人生が送れること” 「生涯学習」とは、“その時々自分の生活場面において解決できるように、前進できるように学ぶこと”
- ④ いつになってもチャレンジする精神を持ち続けることが大切と思っている。「豊かな人生」とは、同世代の仲間が多くいる中で生活していくことだろうか。その点では、市民大学～ところざわ倶楽部へという流れの中で過ごしてきたのは無駄ではなかったと感じた。
- ⑤ 「豊かな人生」とは、他人（社会）の役に立つことだと思います。どんな小さなことにも意義を見出せることにつながると思います。



「生涯学習」と「豊かな人生」とは、市民大学やところざわ倶楽部との関わりを通じて実感し、学ぶ姿勢（知ること）と行う（実践）ことを結んで、「地域や社会」に役立つ自分を語られ感動しました。

特別会員寄稿

「古楽器の魅力」

作曲家・演奏家 笠松 泰洋



9月に、ところざわ倶楽部の10周年で上演される「ハーメルンの笛吹きおとこ」は、リコーダー、バロックオーボエ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロの4つの古楽器の合奏のために書かれています。そして、その名手たちによって演奏されます。



リコーダー



バロックオーボエ



ヴィオラ・ダ・ガンバ



チェンバロ

古楽器は、ピリオド楽器、オリジナル楽器とも呼ばれます。現在クラシック音楽で使用されているピアノやヴァイオリン、クラリネットなどの楽器は、改良を重ねて、より豊かな音、より大きな音量が出るように20世紀になり完成されたものが多いのですが、例えばバッハやベートーヴェンなど、17世紀、18世紀、そして意外ですが19世紀のシューマンやブラームスといったロマン派後期の作曲家の作品でも、実は今とはかなり違う楽器で演奏されていました。

作曲家が作った当時の楽器でその曲を演奏するのが、正統な演奏ではないのか、という考えに基づいて、当時の楽器の再現、そしてその楽器での演奏をするようになったのは、戦後の潮流ですが、今、それが花開いているのです。楽器の機能の違いにより、演奏法も異なるのですが、今では、ピリオド奏法と呼ばれる、当時の演奏スタイルを現代のオーケストラ（モダン楽器のオーケストラ、と言います）が、楽器はモダンのままで取り入れ

ることも珍しくなくなってきました。例えば、弦楽器のヴィブラートの付け方などです。

そもそも、室内楽と呼ばれるジャンルは、音楽ホールではなく、貴族や王族の室内で演奏されるものでした。とても近い距離で、狭い空間で演奏されます。実際には、じっくり聴く、というより、今で言うBGMのような存在だったとも言われています。大きな音量は必要なかったのです。弦楽器やピアノは、弦を張る張力が今の楽器より弱く、音量は少ないのですが、音色的にはより豊かなものがあります。チェンバロからピアノが生まれたのも、実は、金属加工の技術の発達があって生じたことなのです。ヴァイオリンの弦が全て金属になったのは、驚くことに20世紀のことです。クライスラーは、死ぬまでE線はガット弦だったということです。今私達が聴くヴァイオリンの音は、実は、科学の発達により、細くて強い金属素材の針金が開発された1930年以降によりやく出来たものなのです。ストラディヴァリウスなどは、300～400年前の楽器なのですが、実は、全部、弦を巻く部分は、本体から切り取り、角度を変えて再び取り付け、という処置が施されています。

古楽器は、モダン楽器と比べると、余計な倍音や雑音とされるものも含みますが、その音色は、しばらく聴いていると、とても人間になじみます。生き物の成分から出来たものから出ている音なのです。リコーダーは17世紀とほぼ同じ形で継続しています。バロックオーボエも、近年、昔の楽器を復元する形で多く使われるようになってきました。今のオーボエとはちょっと違う、のどか

で温かい響きがします。こういった音色が現代に蘇り、愛好されている理由は、とても分かる気がします。我々人間が、本当に必要なものを求め出しているからだとは思えます。



サークル活動計画

あなたは「物忘れ」しませんか？

脳活サークル 加曾利厚雄

70 歳を超えると 50%の方が、MC I（軽度認知障害）と言われている時代です。

ひょっとすると皆さんもすでにMC I かも知れません。脳活サークルは会員自身が「認知症にならない生活」を身に付けることを目的としています。

また「知らないより知っていると安心！家族に何があっても安心！」など認知症についての知識や地域の情報もえられます。脳活サークルに入会（見学）



がでしょうか！

本会は、会員相互の親睦・研鑽を旨とし、「認知症

して「認知症にならない方法」をさっそく実践してみたいか

にならない私生活を身に着けること」を目的として、テクテク（歩くこと、運動すること）、ニコニコ（笑うこと）、

カミカミ（よく噛んで食べること）、ドキドキ（感動すること、

青春すること）を実践することで、身体と脳を活性化させる努力をしています。

<定例会での活動>

定例会の初めに「脳活体操」終了後に「雑談会」を行い会員相互のコミュニケーションづくりを行っています。主な例会行事は「笑いヨガ」「デュアルタスク方式での料理教室」「回想法を用いた散策（写真は横浜方面）」「アロマセラピーでの認知症予防」など会員の提案に基づいて実施しています。



サークル活動計画

デンマーク大使館再訪問予定

北欧の会 樋口 俊夫

大使館訪問は人気のある企画である。今までデンマーク大使館に 5 年前、スウェーデン大使館に 4 年前に訪問した。その後計画案には毎年入っていたのだが、訪問できていないのはスウェーデンの他は受け入れ体制が出来ていないこともあり、大使館のイベントに合わせて参加する方法もあったが日程的に難しく実現しなかった。

今回会員の皆さんの要望で「まだ行っていないメンバーがいるので」デンマーク大使館の再訪問の計画を立てることになった。

2010 年、私は「デンマークの教育と生活を知る旅」10 日間に参加した。その時一緒に参加した知人に大使館（商務部）に勤務しているナナミ・ブラントさんを紹介してもらい実現した計画だった。

一般的に大使館で商務部を持つ国は少ないが、デンマークでは企業が日本で仕事がしやすくなるよう商務部がサポートしている。

その時の感想として自由な職場の雰囲気の中で働いていること、ナナミさんの話したことが新鮮であったこと、コーヒーなどのもてなしを受けたことなどである。5 年の時が経過しナナミさんも結婚されたそうである。デンマークと日本の文化や習慣の違いなどナナミさんの話を聞くのが今から楽しみである。訪問は 10 月頃を予定（希望）している。

（写真は前回のスウェーデン大使館訪問時）



「葵の会」古典講座

『枕草子』9月15日(金)開始！ 受講者募集！

葵の会 池田新八郎

葵の会は本年度で8年目を迎えた古典文学サークル（会員29名）です。現在まで「源氏物語」「平家物語」「万葉集」始め、10タイトルの代表的な古典を学んできました。2017年度前半（2月～6月）は日本最古の物語「竹取物語」を学んできましたが、後半（9月～2018年3月）は「枕草子」講座（全6回）を開始、受講者を募集しています。

誰もが聞いたことがある日本三大随筆の一つで、「方丈記」の「ゆく川の水は絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例はなし」、「徒然草」の「つれづれなるままに日暮らし、心にくつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつづれば、あやうこそものぐるほしけれ」とともに、「枕草子」の序文「春は曙、やうやう白くなりゆく山際、すこしあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。夏は夜、月の頃はさらなり、闇もなほ、螢飛びちがひたる。雨など降るも、をかし」など暗記されている方も多いと思います。

作者の清少納言は“をかし”という言葉を多用し、平安時代・摂関期の貴族社会や自然美を主題として描きました。洗練されたセンスと、事物への鋭い観

察眼が融合して、源氏物語の心情的な「もののあはれ」に対し、知性的な「をかし」（興味深い）の美世界を現出させました。

講師に及川道之秋草短期大学教授をお迎えして9月15日より、毎月第2金曜日に6回にわたって開催いたします。及川先生の講義は「竹取物語」に続き2度目ですが、大変親しみ易く、幅広い知識でユーモアを交えて講義され、葵の会で人気を集めています。ところざわ倶楽部会員の皆さん、共に学び、「枕草子」の世界に浸ってみませんか。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

葵の会古典講座「枕草子」

講師：及川道之（秋草短期大学教授）

日程：9月15日（金）～2018年3月3日

（全6回）毎月第2金曜日（初回のみ第3金曜）

13：30～15：30

場所：中央公民館

参加費：3,000円

連絡：池田新八郎（葵の会）

TEL：04-2940-0711 090-2154-9312

〒359-1144 住所：所沢市西所沢 1-24-2



第25期 所沢市民大学開講式

第25期市民大学企画委員長 川上 紀春

6月8日（木）10時より、生涯学習推進センター倉富恵理子所長の司会で、第25期所沢市民大学の開講式が所沢市生涯学習推進センターで行われました。

雨が気がかりでしたが、受講生の熱気で雨雲は吹き飛び、太陽が顔を出しました。

初めに、市民大学学長である所沢市教育委員会の内藤隆行教育長よりご挨拶をいただきました。教育



長からは、市民大学が開講して四半世紀の節目であること、市民大学の理念である「新たな仲間づくりや学びを

地域で活かし地域デビューをはかってほしい」とのお言葉をいただきました。さらに、仲良く生涯学習を進めて行くうえでの「かきくけこ」の極意「か：からまない、き：気にしない、く：くどかない、け：

ケンカしない、こ：こだわらない」が披露されました。ユーモア溢れるお話で、受講生の緊張が一気にほぐれたようでした。

続いて、第25期企画委員会委員長として私、川上より挨拶をさせていただきました。

シニアが心身共に健康でいられるよう、役割・目的を持ち工夫して挑戦することや仲間とのコミュニケーションの重要性について述べさせていただきました。

開講式に引き続きの市民大学全般のオリエンテーションが行われました。

オリエンテーション後は各グループに分かれて、自己紹介や1年次の役割の決定を行いました。

今年度の市民大学のキャッチフレーズは単純・明快に「みんなで楽しく学ぼう」です。

受講生の皆様が、まずは楽しく学んでいただきたいと心より願っています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（池田新八郎 2940-0711）

7月14日(金)13:30～17:00 中央公民館8号室
歌舞伎「籠釣瓶花街酔醒」名作鑑賞会
8月3日(木)11:00～12:30 中央公民館
ビデオ「宮沢賢治への旅」鑑賞
終了後暑気払い(場所:梅の花)

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

7月19日(水)13:30～16:00 中央公民館
ASEANの状況について 池上幹彦会員による問題提起
8月 日程未定 暑気払い:新大久保コリアンタウンで予定
9月20日(水) 定例会 テーマ未定

3. 活いきシニア福祉の会(佐藤 重松 090-5412-5760)

7月26日(水)10:00～13:00 さくら会館(地域交流室)
「高齢者の健康維持と元気に過ごす為の勉強会」&
暑気払い

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）

7月11日(火)ジャズを主に、ボサノバ、ポピュラー、
などの曲をリラックスして楽しみましょう
8月8日(火)ミュージカル作品集(アンドリュー・
ロイド・ウェーバー作曲)を楽しみましょう
いずれも 13:15～ 中央公民館 8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会（吉田 麗 2939-9662）

7月18日(火)10:00～12:30 ふらっと
サークル発表会打ち合わせ リハーサル
7月25日(火)10:00～12:30 ふらっと
サークル発表会 リハーサル

6. 地域の自然を考える会（海老澤愛之助 2922-0259）

7月25日(火)定例会 10:00～ トロ12号地手入れ作業
トロ財団の取得地の管理保全を定期的に行っています。
環境保全に関心をお持ちの方、参加下さい。
単発での参加も結構です。

7. 地球環境に学ぶ（塚本 二郎 2942-3117）

7月18日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会
7/8実施の「日本と再生」上映会の感想等話し合い 他
7月25日(火)14:00～16:00 新所沢公民館 学習室1号
パリ協定講演会(傍聴席と共催)出席ご希望の方 ご一報を

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

・第3回 シニア世代なんでも塾 企画検討中
・「地域サロン」訪問企画計画(安松交流館・芝の家・こまじ
い・サロンえんがわ など)
・チアダンス練習日 7月8日(土)、22日(土)13:00～

9. 所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

7月9日(日)12:00～ 市大ファーム収穫祭
7月13日(木)13:00～ 新所沢公民館 定例会
8月10日(木)9:50～ 御岳山・ロックガーデンハイキング
8月15日(火)17:30～ 寒川神社「相模薪能」

10. 野老澤の歴史をたのしむ会（大山 豊 2993-0818）

7月25日(月)13:00 集合 中央公民館ロビーほうろく灸の体
験 法華寺(徒歩5分)参加費500円(お布施)
8月3日(木)15:00～17:00 新所沢公民館
渡辺先生を囲む座談会 テーマ:「神々とヤマト国家」
終了後懇親会を予定

11. ドラマティック・カンパニー（柳澤千賀子 2968-5035）

7月8日(土)10:00～12:00 中央公民館
7月15日(土)10:00～12:00 新所沢公民館
7月22日(土)10:00～12:00 中央公民館
サークル発表会に向け7月は毎週(土)活動、8月は休み

12. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

■7月11日(火)10:00～12:30 西新井町公民館

洋画「ブリジッド・ジョーンズの日記」(01年)

■7月25日(火)10:00～14:30 西新井町公民館

・特集「懐かし人気映画スター」～甦る感動秘話～

⇒暑気払い「そうめんパーティー」～映画の談話室～

13. 脳活サークル（加曾利厚雄 2939-2308）

7月24日(月)13:30～16:00 こどもと福祉の未来館・1F 多
目的室1号 7月 定例会 講師 所沢市社会福祉協議会小田
部家斉 氏「ところ WITH プラン」の説明
「脳活に役立つ手話」と「助け合いゲーム」の体験

14. 北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

7月例会、8月例会は夏休みとして、休会予定です。

15. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）

7月25日(火)14:00～ 新所沢公民館 学習室1号
テーマ:「パリ協定について」講演会 地球環境に学ぶと共催
講師:環境文明21 共同代表 藤村コノエ
9月19日(火) 学習会、「自然エネルギー活用のすすめ」

16. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

7月21日(金)10:00～ 新所沢公民館 定例会
「とんぼの宿り木」「てつたいねこ」「100万回生きたねこ」他
読み合わせ。特養ホームでの「民話の会」の内容検討
*「民話の会」へ来てみませんか。楽しいですよ。

17. 歴史散策クラブ（大河原 功 2943-2004）

7月22日(土)9:30～ 新所沢東公民館
座学「内容は別途」講師:門内氏
7月22日(土)12:30～ 「たつみそば」で懇親会、申込:班長
8月の例会はありません。

18. 広報部

7月6日(木)9:30～15:00 頃 生涯学習推進センター
「広場」7月号、編集会議・発行日
8月号は休刊となります。

【私の健康法 第49回】

地球環境に学ぶ 中島 峯生

今年も「後期高齢者医療健康診査」の案内が送られて来ました。毎年誕生日近くに、必ず健康診断を受けています。何かしらの再検査は何回か経験していますが、幸い、特に異状はありません。今までの健康診断で特別な経験があります。健康保険組合の健診機関で受けた脳ドックで、脳下垂体の異状が見つかり、発見が早く簡単な手術で治りました。1995年、オウム真理教のサティアンに捜査が入った頃です。数年後、同じ医師に首のグリグリを見つけれられました。リンパ腺かな、専門科のある東京医科歯科大学付属病院の頸頭部外科での検査を受けた結果は末梢神経の腫瘍であった。これは頸動脈に近く手術はリスクが多いので止め、定期的な経過観察をすることで、15年間経続けて問題なく、今は止めています。ただし、この間、毎年の健康診断の間診では、首のグリグリを指摘する医者は居ませんでした。昨年、胸部のCTを取る機会があり、その時首の腫瘍も撮影され異状を初めて指摘されました。数値と画像にたよる診断を感じていますが、定期健康診断の結果は慎重に対応して置くことが大切だと思います。

日常の健康法を改めて考えると、公民館の講座から生まれたメンズフィットネスクラブに所属して、1週間に1度のストレッチ主体の健康体操に参加して、身体を動かしています。習慣になって気持ちが良いものです。クラブで計画するハイキングには、できるだけ参加し、体力の判定と自然を楽しみますが、メンバーに迷惑を掛けないためにも、毎日3,000歩以上は歩くことを心掛けております。この様な生活で健康を維持しています。

むさし野俳句会（二十九年六月） 六義園吟行会作品抄

回遊の深き木立に汗の引く
一陣の風馬場跡の夏落葉
木洩れ日の揺るる水底水馬
蓬萊島と名付くもてなし五月晴
夏木立土柔らかき馬場の跡
日盛りや一つ一つの影の濃し
蛛（ささがにの）道にすりとと斬腸かな
南風にのり船足速む小帆船
銅鐸のごとき老幹苔の花
万緑を抱へて立ちぬ渡月橋

小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高橋三加子
高橋三加子
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子

早梅雨風のふくらむ富士見山
文字摺のねじれ乱れて和歌の浦
庭園のベンチに二人若葉風
日盛りに伸びきつたるや亀の首
錦鯉突視いてはまた沈む
池の端に泰山木の花は立つ
さざ波の蓬萊島や島涼し
白らかな山桑ありや六義園
峠より紀州一望夏つばめ
和歌の浦に目の満ち来たり明日は夏至

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
鈴木 征子

《編集後記》

小雨降る中、同窓会へ出席のため田舎の旅館へ向かった。電話がかかる。幹事役の彼は皆に電話をしているようだ。「向かってるよ」昼に着いた。彼は玄関先で迎えてくれた。「お互いに老けたな」「はっはっは！」
紫陽花がきれいだ。元気な友と健康を祝い、花を愛でた。写真を撮り、お世話になった「広場」の後記に添えたいと思った。



母を想いだした。句を詠む。

紫陽花や母の慈愛の彩となり

今月号をもって「広場」編集員を卒業させていただきました。この5年間、沢山の思い出があります。

感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

仲山 富夫

「広場」問合せ 海老澤愛之助 (04-2922-0259)

川柳② 作品発表 中島 峯生 選

課題「雨の日」

ムダなこと言い出しそうなテル坊主
雨デート忘れたフリで君の傘
梅雨ならば読書三昧耕さず
手術後の雨の日痛む美女の膝
梅雨空にほくそえんでる菜園家
かあさんや濡れていこうと肩を抱く
「自由句」
晴れ舞台歌うぞおはこちよつとずれ
茶柱が立ったと背伸び爺と婆
ハーメルン客も集めて笛吹いて
紫陽花を見てはいるけど美人みる
広告のはつと目につくシミ薄毛
孫の消す蠟燭かぞえ老いを知る

突拍子
海さとの
庵閑子
どうし
丘の河童
突拍子
海さとの
庵閑子
りんご好き
庵閑子

次回の課題 「つらい」又「自由句」

7月20日締切り 担当 中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161